
東方大空伝-Aninvader?Executioner?Nohope-

太陽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方大空伝 -Annivader?Executioner?N

ohope-

【Zコード】

N6043V

【作者名】

太陽

【あらすじ】

博麗大結界に突如現れた謎の歪み

それと同時に突如現れた謎の外来人

一体幻想郷に何が起こりつつとしているのか…

靈夢たち幻想郷メンバー+で異変解決に挑む！

零面へ異変！？

此処は幻想郷

人と妖が共生し、豊かな自然と古めかしい家や屋台が未だ健在する少し変わった世界

これはそんな世界に住んでいる人 + 達の物語…

「ちょいと、私達妖怪を 何かで済まさないでくれる？ちょっと、聞いてるのー？ねえって！」

博麗神社

「…ふあ…暇ね…」

縁側に座り呑氣にお茶を啜る少女がポツリと呟く。彼女の名は博麗靈夢、この博麗神社の巫女である。今日も修行をサボっているようだ

「暇なのは平和な証拠だぜ」

その隣に座り足をぶらつかせている黑白の恰好に三角帽子を被った少女が靈夢に言つ。彼女の名は霧雨魔理沙、普通の魔法使いだ。

暇を持て余してはよくこの神社に遊びにくるようだ

「まあ確かにね…でもなんか暇なのよねえ…」

「あ、この煎餅頂くぜ」

そう言つて魔理沙はお盆にのせられた煎餅を一つパクリ

「ちよ、勝手に食べないでよ!」

「いいじゃないか一枚くらい、ケチケチするなよ」

ニシシ、と笑う魔理沙に対し、もう…と靈夢はため息をつく

「おーい靈夢ー」

神社の中から声がし、同時に一対の角の生えた少女が現れる

「ん? どうしたの? 萩香」

少女の名は伊吹萃香。今は殆ど幻想郷からいなくなつてしまつた鬼の一族である

「客人だぞー。人里の人間だと思う」 萩香は瓢箪をグビツとやりつつ境内の方に視線をやる

「あら、珍しいわね…あ、お賽銭入れてくれるかも」

言い切る前に既に靈夢は場を離れ客への所へ小走りで向かつていった

「…現金な奴…私も行ってみるか」

苦笑しつつも魔理沙は靈夢を追いかけていく

「行つてこ～い」

酔つ払つてゐる鬼は酒を飲みながら手を振り部屋に戻つていつた。

十壹十

「あら、魔理沙も来たの？」

境内に着いた靈夢は後から追いかけて来た魔理沙に気付く

「ああ、何か面白そうだったからな」

「何が？」

「何となくだぜ」

しかし境内に着いたもののどうも客人の様子は無さそうだ。何より人の氣配すらもしない

「…誰もいないじゃない。騙された…？」

「せつかく客人として訪れたのに誰もお出迎えしないから腹立てて帰つたんじやないか？」

二人はキヨロキヨロと辺りを見渡してみる

「そんなわけないでしょ、神社は人をもてなす所じゃないわ。大体

神社に来てお賽錢の一つもしないつてどうこの事よ

いつの間にか靈夢はお賽錢箱の蓋を「コトゥ」と開けて中身を確認している

どちらから中身はいつもと変わらない、

「空だな」

落胆した表情を見せながら溜め息をつきつつ蓋を戻す

「ホント、神社に来て賽錢しない奴の気がしれないぜ」

「嫌味も込めて言つたんだけど」

じとーっと魔理沙を見る靈夢

しかし魔理沙は知らぬ素振りで会話を続ける

「がつつく奴の所には金は来ないって聞くけどな」

「はあ…仕方ないでしょ、こちとらそれしか収入源が無いんだから。それでも私が異変解決したら誰かお金くれるっていうの?」

「さあな、少なくとも前例はない」

笑う魔理沙

そつ、巫女である博麗靈夢はこの幻想郷で誰かが起こす“異変”と呼ばれるものを解決する事を本業としている。実はこの巫女、恐ろしい程強いらしく…（弾幕）つこで彼女に勝てる者はいないんだつ

て)

因みに魔理沙も迷惑な妖怪を退治している。腕は靈夢程では無いがかなりの努力家で、そして派手である。曰く「弾幕は火力だゾE」らしい。

「…って訳よ。さて、この私を騙すとはい度胸ね…萃香あ…」

走つて神社内へと向かう靈夢。初速は世界記録レベルだ。お金の怨みは怖い

(元々、客人＝お賽錢という等式が成り立つてゐる靈夢の脳内が少し春)

「つと、速いな。こりや天狗に匹敵するぜ」

追いかけるようにして魔理沙も神社内へ向かう事にする…

十式十

神社内をドタバタと騒がしい音をたてながら廊下を歩く靈夢。振動で襖やら戸棚やらがガタガタ揺れていようだ。靈夢は先程の萃香の部屋の前に着くと勢いよく襖を開ける

「萃香！…客人なんていないじゃない！…お陰でお賽錢なんて…つて萃香…？」

いない

誰も居ないのだ。室内をぐるっと見回してみても萃香の姿は見当たらない

「おーいおーい、あんまりバタバタやるもんじゃない。いい近所迷惑だぜ…つてどうしたんだ…？」

後から魔理沙が下らない事を言いながらやって来る。しかし靈夢の様子を見るやいなや少し神妙な顔つきになつた

「萃香がいないわ、何処に行つたのかしり…」

「何だ、そんなことか。霧にでもなつて何処かウロチヨロしてゐんじやないか?」

なんだ、と安心し樂觀視する魔理沙。
その時だつた

「おーい靈夢ー」

どこからか萃香の声。どうやら室内ではなさうだ

「ほら、お呼びだぜ」

やつぱりな、と笑う魔理沙

「はあ…はーい、今行くわよー」

二人は顔を合わせくすつと笑うと外に出て萃香の声がする方へと向かっていく…

萃香がいたのは神社の屋根の上だつた。そこで萃香は“何か”を見

ていた

「「」んな所でなにやつてゐの…ひて、え…？」

「お?そりや…」

二人が着いたのを確認し、萃香は口を開く

「靈夢…これは何だと思つ…？」

丁度神社の屋根の中心辺りを陣取り、黒く渦巻く歪みのよつた“何か”を指差しながら靈夢に尋ねた

「これは…まさか大結界に歪みが出来てゐ…？」

「どういつ事だ?靈夢」

「今言つた通りよ、この幻想郷と外の世界を隔離するための結界に歪みが出来てるの……まさか紫が…？」

この幻想郷は博麗大結界といつ結界によつて外の世界と隔離されている。

それは人間と妖怪のパワーバランスを均等に保つ為であり、この結界が無ければ“幻想郷”といつ世界は消えてしまつのだ

「そんな事はわかつてゐ。何故こんなことになつてゐんだ?つて意味で言つたんだ」

少しムツとなり靈夢に言い返す。しかし返事をしたのは靈夢でも萃香でもなく、背後から聞こえてきた謎の声だった

「何者が仕業によつてこの結界が弱くなつてゐるのよ」

「一。」三人が振り向くと空間にスースと裂け目が発生し、その中から帽子を被り、紫を基調とした服を着た一人の少女が現れる。

彼女の名はハ雲紫

見た目とは裏腹に千年以上生きており、妖艶で不気味な雰囲気を漂わせる彼女はこの幻想郷では賢者と呼ばれている大妖怪である

少女はトンチと屋根の上に降り立つと靈夢に視線を向ける

「靈夢、私が張るのに携わつた結界に私がこんな歪みを創る訳ないでしょ？」

「それは解らないわよ。この前だつてアンタこの結界にヒビいれってたじやないの」

「この結界に干渉する事が出来るとは… 相当な力の持ち主ね… こんなのが鬼や天狗、吸血鬼にも不可能なはず… もしゃ外から… もしくは並行世界から…？」

ガン無視である

紫は歪みを見つめつつブツブツ何かを言つてゐる

「無視してんじゃないわよ。誰がやつたかとかはどうでもいいの。問題はこれが直せるかどうかよ」

靈夢が歪みに指を差す

こつじている間にも歪みは禍々しい雰囲気を放ちながら神社の中心に陣取つてゐる

そして「ひしひし」と間にも萃香は酒を飲んでいる。緊張感に欠ける
鬼だ

「笑止。」この程度の歪み、私の手にかかれば」

「日常茶飯事、だな」

「何故か魔理沙が割つて入る

「お茶の子セレクション」

露骨にスルーして

「直せるならわざと直して頂戴。いつまでもこんなもんがあつち
やいい気分しないわ」

靈夢が紫に言う。

紫は「ヤツと口元を歪ませると毒々しく言い放つた

「ふふ、ただ直すだけではつまらないでしょ? さあ、釣りの時間
よ」

決して歴史に遺る事のない物語が幕を開ける

零面～異変！～（後書き）

お疲れ様でした

まだ始まつたばかりでよく話もわからないと思いますが次話から本格的に始めていこうと思います

…どうなるんだね～」のお話…。○一ノ

最後に

ここまで読んでくださった方、本当にありがとうございました。○

— —) 三

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6043v/>

東方大空伝-Aninvader?Executioner?Nohope-
2011年10月8日01時07分発行